



Adega do Vulcão

アデガ・ド・ヴルカオン



アデガ・ド・ヴルカオンは、アソーレス諸島に魅せられたフィレンツェ出身の夫婦が始めたプロジェクトで、ファイアル島のブドウ栽培エリアとしての可能性を感じたそうだ。2008年に植樹を開始し、品質の良いブドウが取れるようになるまで待ち、2017年より醸造を開始。ファイアル島は1957年の海中噴火により、火山から1年以上に渡り降り注いだ大量の砂と灰が土地を覆い、その後の数十年でユニークなテロワールが生み出された。現在ピコ島とファイアル島の2つの島で合計14haの畑を所有する。夫婦はコンサルタントのアルベルト・アントニーニ氏監修の元栽培を行い、家族2世代で生産に取り組む。生産工程全体を通してできるだけ不介入自然な方法を用いることで、2つの島の2つの異なる火山性テロワールを表現する。彼らの目標は「ワインが生まれる土地の真の姿を表現するワインを造ること」。

	○IG Açores - Ameixâmbar アソーレス アメイシャンバー			備考	1957年に火山噴火が起こったファイアル島のカペリーニョス地区と、ピコ島のラジド・ダ・クリアサオン・ヴェーリャ地区の自根のブドウをブレンド。
	畑	品種：アrinto・ドシュ・アソーレス90%、テランテス・ド・ピコ10% 植樹：主に2008年以降 土壌：火山灰土壌（ファイアル島） 火山性（ピコ島）、冷えた溶岩	醸造		
	○Pico - Verdelho ピコ ヴェルデーリョ			備考	アソーレス諸島の土着品種ヴェルデーリョを単一で使用。マデイラ島とも共通するこの品種は、大西洋環境由来の塩味と玄武岩質土壌のミネラル感が相まって、高いフレッシュさとトロピカルな香りを備えたワインを生み出す。
	畑	品種：ヴェルデーリョ100% 樹齢：2008~2015年 土壌：冷えた溶岩	醸造		
	○Pico - Pé do Monte Reserva ピコ ペ・ド・モンテ・リゼルヴァ			備考	ピコ島のクリアサオン・ヴェーリャ地区の樹齢70~80年の古木。この畑は収量が非常に少ない分品質が高い。
	畑	品種：アrinto・ドシュ・アソーレス90%、ヴェルデーリョ、テランテス・ド・ピコ10% 植樹：1940~1955年頃 土壌：火山性、冷えた溶岩	醸造		
	○Pico - Terra Brum Reserva ピコ テッラ・ブルム・リゼルヴァ			備考	ピコ島のアレリア・ラルガ地区に位置するソラ・テッラ・ブルムの畑のうち、さらに厳選されたエリアの古木。畑の歴史は古く、1796年に初代オーナーがワイン生産のために初めてその土地を開拓した。たっぷりとした果実味、豊かな塩味と鉱物感が見事に調和している。
	畑	品種：アrinto・ドシュ・アソーレス90%、ヴェルデーリョ、テランテス・ド・ピコ10% 土壌：火山性、冷えた溶岩	醸造		
	○IG Açores - Capelinhos アソーレス カペリーニョシュ			備考	ファイアル島に2016年に植えた畑のブドウのみを使っている。2023VTが初リリース。1957年の島中央部の火山（=カペリーニョシュ）の噴火で島全体が火山灰でおおわれてしまったファイアル島単一のワインの復活、というわけである。
	畑	品種：アrinto・ドシュ・アソーレス、テランテス・ド・ピコ 樹齢：2016年 土壌：火山灰	醸造		